

## 江古田小校長室便り 「温故創新」

H29 (2017)・1129 NO49

校長 伊波喜一

校庭に 枯れ葉落ち 冬支度 声響かなん 奉仕の朝よ

23日の勤労感謝の日を前に、勤労奉仕活動を全校で行いました。

1・2年生は校庭の石拾い、3・4年生は落ち葉拾い、5・6年生は下駄箱の拭き掃除と、分かれて行いました。15分間という短い時間ではありましたが、全校で行うとあっという間に片付きます。校務主事さんからも「児童のみなさんがお手伝いしてくれて、有難いです。学芸会に向けて、会場周りをきれいにしていきます」と、お褒めの言葉がありました。その言葉を聞き、私はケニアのワンガリ・マータイ女史の事を思いました。女史は土壌の浸食と砂漠化を防ぐために、グリーン・ベルト運動でアフリカ全土に植林活動を始めました。僅かな人数で一本一本手植えしても、当初は焼け石に水の状態でした。しかし、植林運動に参加する人達が増え、やがてアフリカ全土を視野に入れた壮大な運動へと発展してゆきます。奉仕活動の原点は、ここにあります。自分たちでやれることは自分でやる。自助・共助の体験を積み重ねていくことが、地域を担う若者を育てます。立冬の寒空の下、爽やかな一時を満喫しました。